

### 残業代を払うと会社が潰れるなら、経営者を辞めるか事業構造を変えよ

#### 【経営者の姿勢を問う「働き方改革」】

一億総活躍社会実現を目指す「働き方改革」は、中小企業経営者の経営姿勢を問う取り組みでもあります。働き方改革により解決すべき課題のひとつに「長時間労働の是正」がありますが、中小企業では長時間労働に伴う残業代を支払わないというケースも少なくありません。

経営者を対象としたセミナーなどで残業代が話題になった時、私が残業代の不払いは法令違反なのだから払うべきだと指摘すると、経営者の中には、残業代を払うと会社の経営が成り立たない、残業代を払って会社がつぶれると従業員も困るだろうと反論する人もいます。

そんな経営者に対し、私は、残業代すら払えないなら事業構造を変えるか、それができないなら事業をやめてしまえとはっきりと言うことにしています。法律に違反してまで従業員から搾取して経営者を食わせる必要はありません。

経営コンサルタントの倉定先生は「従業員には同じ地域の同業他社よりも1割高い給料を払え」とおっしゃっています。それこそが経営者の当たり前の考え方です。

ただ誤解して欲しくないのは、どの中小企業も従業員に長時間労働低賃金を強いているというわけではないということです。

一般の大企業より高い給料を払っている中小企業を私は少なからず知っていますし、私のお客さまの中には、給与とは別の次元で、従業員が自ら進んで工具を家に持ち帰り夜にそれを磨き、「早く明日が来ないか」と会社に行くことを楽しみに思っている素晴らしい会社もあります。

もちろん、そんな会社ですから高収益で、同業他社よりも高い給料を支払っているだけでなく、2年に一度は150人ほどの全従業員さんを海外研修に連れて行っています。どんな会社でも働きがいが高めれば、高収益企業を作れるのです

#### 【働く喜びと経済的喜びを従業員が感じているか】

ちなみに、私は残業が嫌い、当社の従業員にも早く帰るように指示していますが、楽に働ける会社ということではありません。私はいつも従業員に、終業時には「今日一日、一生懸命働いたか」「0.01歩でも進歩したか」を確認して帰って欲しいと話しています。

その真意は、もちろん、従業員に仕事以外でも人生を楽しんでほしいということですが、経営者としては、ムダな残業をなくすとともに、労働生産性（従業員一人当たりの付加価値額）を高める働き方をしてもらうためです。

高い付加価値を生むには、従業員が精一杯働くことだけでなく、他社とは差別化された商品やサービスの提供が必要です。高い顧客満足を実現するQ P S（Quality、Price、Service：品質、価格、サービス）の提供です。

顧客に対してはQ P Sの提供が重要ですが、従業員に対しては何が重要なのでしょうか？

法律で定められた残業代を支払うことは当たり前として、最も重要なことは、先の例にあるように、夜に工具を磨く従業員が感じているような「働く喜び」の提供です。そして、二番目が「経済的な喜び」です。

この順番を間違えると「金の切れ目が縁の切れ目」のような関係になってしまいます。そして、「経済的な喜び」だけを追求しても大して稼げないのも現実です。

松下幸之助さんは、こうおっしゃっています。「働く喜びをお金に代えられると考えているうちは本当の仕事の喜びを知らな

東北から元気発進！！ワクワク"夢実現"プロジェクト



仕事と生活調和推進企業として  
ワーク・ライフ・バランスの実現を応援します

い」。その通りだと、私も思います。「今日一日、一生懸命働いたか」「0.01 歩でも進歩したか」の確認は、「働く喜び」の確認という意味もあるのです。

### 【生産性をどれだけ引き上げられるか】

オランダや北欧諸国が労働者一人当たりの労働時間を短縮する目的でワークシェアリング（仕事の分かち合い）を導入できるのは、一人当たりのGDPが格段に高いためです。

日本のようにGDPを増やす施策を十分に講じないまま働く時間の削減を目指したら、一人当たりのGDPが減る（給料が減る）だけで終わってしまいます。これは企業でも同じです。

生み出す付加価値額、それも一人当たりの付加価値額を高める生産性の向上なしには、時短は行えないのです。生産性の向上なしに時短を行えば、一人あたりの給料が減るだけです。生産性向上のためには、先にも述べたようにQPSで徹底した差別化をする、言い換えれば「お客さま第一」を徹底することです。

働き方改革を目指す経営者は、長時間労働の是正とともに、労働生産性をどれだけ引き上げることができるかを考えることが大切です。

長時間労働の是正という働き方だけの改革では、収益が格段に落ちて企業の体力そぎ、従業員の給料が減ってモチベーションを下げ、さらに生産性が落ちて企業の存続に関わるという最悪の事態に陥る可能性にも注意をするべきです。あくまでも他社との差別化を徹底し、従業員に働きがいを与えることで、生産性を高めて高収益企業を作ることが大切なのです。

DIAMOND online 小山一慶の週末経営塾より

熱中症対策に効果的な飲み物・食べ物	ビジネスマナー・押印と捺印の違い
<p>間もなく本格的な“夏”がやってきます。この時期になると熱中症になる方も少なくありません。</p> <p>そこで今回は熱中症対策に効果的な飲み物・食べ物を紹介します。</p> <p><b>牛乳</b>…牛乳を飲むタイミングは、運動後が効果的です。</p> <p><b>梅干</b>…食塩、クエン酸ナトリウム、塩化カリウム全てを含んでいます。</p> <p><b>ミネラル入り麦茶</b>…大量の汗をかくと、体内の水分やミネラルが不足して身体の調整機能が破綻してしまい熱中症を招きます。ミネラルは人間の身体の中で作る事が出来ないためミネラル入り麦茶は効果的です。</p> <p><b>スイカ</b>…熱中症予防には水分補給が第一です。スイカは水分が90%以上と非常に豊富で、糖分やカリウム・カルシウムなどのミネラルも含まれています。</p> <p><b>冷たい味噌汁</b>…汗として体内から失われた水分補給には体液と塩分濃度が近い味噌汁が最適です。</p>	<p>判子を押す時に「押印」と「捺印」という2種類の言葉があるのを御存知でしょうか？あまり意識せずにつかっているかも知れませんが、両者には大きな違いがあります。</p> <p><b>捺印（署名捺印）</b> 捺印は通常、自分で署名した上で、判子を押すことを言います。自分で名前を書いてそこに判子を押せば、署名捺印となります。</p> <p><b>署名のみ</b> 印鑑を使わずに、署名だけを行うことです。</p> <p><b>押印（記名押印）</b> 押印というのは通常、記名されている名前に判子を付くことを指します。契約書などに自分の名前がプリントされたものに判子をつくことを「押印」と呼びます。</p> <p><b>記名のみ</b> 相手の名前がパソコンで出力されたもの、ゴム印などが押されているものを「記名」と言います。</p>

東北から元気発進！！ワクワク“夢実現”プロジェクト



仕事と生活調和推進企業として  
ワーク・ライフ・バランスの実現を応援します